

れども、そういう飛行機だったものですから、一気に世界的に有名になってしまいましたけれども、ことしもそのC-19が、去年と同様に、しかしこれは約一ヵ月おくらせて三月半ば過ぎくらいから、横田に常駐体制に入った。そのころ、ちょうど選挙の前で、皆さんも準備に追われていたと思いますけれども、非常にうるさい、例えば半日で五十八回を超すようなタッチアンドゴーを延々とやっただけですね。市内上空を飛びましたし、それからまた、そのちょうど前回の議会の最中だったんですけれども、市の庁舎の上もずんずん飛ぶというようなことがありまして、これは大変な騒音の源になったんです。ここで、問題はやはり去年ですね、同じような形で移駐をしてきた。ことしもまた移駐をしたわけですけれども、一体、市当局並びに市長はですね、そういった移駐の問題についてはどのように理解をしてきたかということは一つあります。

それから、前々から問題になっていましたけれども、C-19の移駐ばかりではなくて、横田基地が、実際に態様と異なりますけれども、態様の变化があった場合には、例えば合同委員会その他の協議事項になるというふうに安保条約の中に決めたことがあるわけですけれども、そういった態様の变化と、このC-19の長期にわたる移駐というのは関係があるのかないのか、つまりそれは態様の变化ということにならないのかということも含めて、市長にまず伺っておきたいと思っています。

それから、やはり同じチームスピリットの期間中ですが、これがそのままチームスピリットの演習に関係があるかないかということは全く別にして、アメリカ海軍のミッドウェーの艦載機E-2Cが、先ほど日本共産党の松山議員からも質問がありましたけれども、非常に市内の上空飛行を行っています。

この上空飛行に關しましては、昨年の十一月の二十一日から横田の周辺で艦載機の演習があるということになってまして、例えば十一月二十二日付の朝日新聞を読みますと、大体騒音は八〇ホーンから九〇ホーンだろうと。それで午前十時十五分から十一時十五分、午後は一時から二時、五時から六時、夜の七時四十五分から八時四十五分にやるんだと、そういう形で、繰り返しやるんだということで報道があるわけです。現実には十一月のときは、非常にうるさかったことを覚えていらっしゃる方も多いと思いますけれども、その中で、立川、昭島、福生、武蔵村山、羽村、瑞穂といった形での、五市二町の首長さんたちが抗議をしたんですが、これがなかなか聞き入れてもらえなくて、結局全部の予定をやってしまったんですね。予定としては、その十一月二十一、二十二、二十五から二十九、十二月の一日の八日間この演習が行われて、大変低いところを飛びますので、非常に市民としてはうるさかったことがあります。

今度の場合につきましては、E-2Cが四月にあってから、海軍のミッドウェーが横須賀の母港に帰ってきますので、船が帰ってきている間は、航空母艦というのは上で飛行機を飛ばすことができなくなってしまうものですから、陸上の飛行場に上げるんですけれども、そのことの演習が始まったんです。

ところが、今度はどうも、それは市長さんのお手柄の一つだと思えますけれども、四市二町で抗議をしたら、もともとこの予定よりはるかに短く終わってしまったというような報道もあったんです。これに關しては、どのような経過になって、その、E-2Cが実際市内上空飛行の期間を縮めるようなことになっていったのかということを、ぜひ伺っておきたいと思ふんです。

これまでも抗議をしたり、あるいはこの手の上空旋回飛行に關して、いろいろな形で抗議が行われたはずですが、けれども、なかなか聞いてもらえなかった。それで、去年一つ、私が成果だと思ふのは、市長さんが、正月三が日だけでも飛ぶなということ強く申し入れた結果、前回の三月の一般質問で見ると、お正月三が日の飛行量というのは、その前の年に比べてはるかに減ったわけですね。こういった形で、行政がきちんとした対応をとれば、このような形での訓練飛行というのは変化をしていくのかどうかということも含めまして、今回の処置につきまして、市長に伺っておきたいと思ふいます。

それから三番目はですね、先ほど日本共産党の松山議員さんの質問とも少し重なってきますけれども、今度もまた、九月の多分第一週、五日、六日だと思ふんですけれども、毎年のように行われています横田基地での親善友好祭が行われる予定になっていると思ふいます。

ここです、昨年問題になりましたブルーインパルス等の曲技飛行の予定はどのようなことになっているかということをおきたいんです。実際、この時期になれば、そろそろ通告も基地の方からあると思ふますけれども、それに対しては、市長さんはどのような態度をとるのか。先ほどの松山議員の質問に対しては、二つの理由を挙げられて、一つは安全に氣をつけてもらっているから構わないということと、それから展示飛行であって、一日限りだからこれについて中止要請はしないんだ、それは、しなかったというふうに聞いているわけですね。現実にはことし基地祭ですね、そのようなことが起きた場合に、市長さんは同じ態度をとられるのかどうかということが、一つあるわけです。

昨年の、やはり十二月の議会で私が一般質問をした折に、横田基地での騒音防止ということで日米協定があって、横田基地上空での曲技飛行はしないというような取り決めがあるというような報道がありまして、それは毎日新聞と読売新聞とであったわけですが、その折にも、市長に尋ねたところ、展示だから構わないということがあったわけですが、一日限りであるから、であればですね、今回もまたそのような形でブルーインパルスへの申し入れがあったら受け入れることになるのかどうかということを、知っておきたいと思うんです。

それと、もう一つは、今回のブルーインパルスだけではなくて、それは私の方で調べた限りでは、完全にわかりませんが、日本の自衛隊がブルーインパルスというような曲技飛行を持っています。これは、正式には戦技研究班と——戦争の技をどうやって研究するかという研究班ですが、それと同じような種類のものが、アメリカの空軍にもあるんですね。

これは、サンダーバードという名前ですが、サンダーバードの曲技飛行の年間予定というのが、アメリカでは公表になります。アメリカ合衆国の軍隊というのは、はるかに日本の軍隊よりも秘密の少ない軍隊ですから、年間の予定を出したりするわけです。巡業を世界中にしているわけですが、その巡業予定に、昨年の段階で、九月にアジアに来るといふ話がありまして、周辺のマニアの人たちを含めて、今度の九月にはサンダーバードがやって来るのではないかという話が、非常に広く伝わっているわけです。

それで、市長はそのことについて御存じかということも伺っておきたいと思いますが、そろそろ九月のことですから、ブルーインパルスもしくは、その世界で最大規模と言われている騒音をまき散らすサンダーバードなどについての話はどのように聞いているか。あるいは、これは米軍の飛行機ですから、自衛隊の展示というわけにはいかないと思いますけれども、こうした世界的スケールを持つような曲技飛行団、曲技飛行に対する反応はどのように考えているかということ、やはり市長に伺っておきたいというふうに思っています。

それから、四番目は、燃料輸送の安全対策ということですが、

これは、横田基地の問題として伺おうか、それともですね、交通安全ということでも伺おうか、非常に迷ってしまったんですが、御承知のとおり、拜島の駅から横田の基地の中へ燃料輸送の線路が単線ですが、これもあるわけです。

これは、拜島のところの、ちょうど玉川上水渡ったところを気をつけて見ますと、これは米軍施設であるというふうな

書いてあるんですね。危険だから入っちゃいけませんと書いてあるんですが、現実には一日に数回、四回か三回だと思えますけれども、しかも、なおかつ十一両、十二両という感じですから、それしか通らない燃料輸送車のもんですから、線路上を普通に歩く人もいるわけで、周辺の住民にとっては線路そのものはそんなに違和感のある存在ではないんです。よく見ると、しかし米軍施設であるということがあるわけです。

その中で、やはり一つ問題が起きてきているのは、五日市街道の交差点があるわけです。五日市街道と引き込み線との交差点がありますけれども、皆さんほとんど毎日のようにお通りになりますからお気づきだと思いますけれども、ほとんど傾斜のない踏切なわけですね。それからもう一つの問題は、遮断機が下がりますけれども、片側遮断機なわけです。片側遮断機というのは、進行方向左側に対して手前に下りてくる遮断機だけだから、右側は開いているという形になると思います。それそのものは、一たん停止がなかなかしにくいということも合わせて、それからあるいは、歩行者にとっては片側遮断機であることも含めまして、大変に危険性があるものではないかというふうに考えているんです。

先般ですけれども、子供さんに、ここは汽車が通るから非常に危険だということを教えようと思ったお父さんが、まあ列車の方から見れば、踏切の中に踏み込んだというふうに思ったんでしょね、それに対して、非常に厳しい注意をするようになってきて、一たん基地の中に通り過ぎた列車から、拜島駅の助役さんと、それから運転主任さんが降りてきて、まだ子供連れでいたお父さんに対して、お前は列車妨害をしたんだというふうなことで、非常に強く言ったりですね、あるいは一〇番しろというふうなことを大きな声で言うとかですね、その周辺の人ですから、もちろんそんなふうにはならなかったんですが、こういうことが起きまして、現実には何らかの形で安全対策を立てなければいけないのではないかと考えています。

安全対策の問題から言いますと、私がまだ学生時代だった一九六七年だと思えますけれども、新宿の構内で、立川駅に向かうはずの米軍タンク車が爆発炎上する事故がありました。それから一九五三年だと思えますけれども、やはりこれは立川駅の構内で爆発をしていますよね。今はどういう形で列車が燃料を運んでいるかと言いますと、浜川崎から船で上がったやつを、南武線を使って上がってくるわけで、かつては山手線の外側を回っていた貨物線を使った時期もあるそうですけれども、その形で、一日に何本か入ってくる。あそこを周囲をちょっとごらんになるとわかるとおり、非常に線路に家が迫っている状態になっていますし、なかなかそれが米軍施設で、非常に危険なものであるというふうにはならないん

だろうと思うんです。現実には事故が起きていないから、いいようなものですが、そういった形で事故が起きるかわからないわけで、実際に行政としては、それらに対してどのような形で施設の改善なり、あるいは一日に四回電車が、電車と言いますか、あれはディーゼルカーですが、くるということがかかっていけば、この時間はこのようなものが通りますから、あなたたちは気をつけなさいといった程度のもので構わないから、安全対策を立てるべきではないか。

むしろ、基本的な考え方から言えば、市街地の真ん中を、例えば発火温度の低いジェット燃料、ジェット燃料というのはプロペラ機に比べると、はるかに発火温度が低いような形になっていると思うので、そういった燃料を運ぶことが、そもそもが問題なわけですが、現実に行われているとすれば、その安全対策をどのように考えるかということ、ぜひ市長さんに伺っていただきたいというふうに思っています。

それから、五番目のですね、三月～五月期の離着陸数というのは、特にことしも今のチームスピリット87に対して、市内の労働組合であるとか、あるいは市民団体であるとかという人たちが、反対の実行委員会をつくりまして、ほかの平和団体と一緒に、基地の調査などずっとしているわけですが、ことしのC-19の輸送機の移駐などもありまして、昨年同期と比べてどのくらい飛行量がふえたり減ったりしたのかということ、ぜひ知りたいと思っています。

この議員になってから八年間ほど、飛行量についてちょっと興味を持ちまして研究をしていますが、大体、全体から言えば、この八年間、飛行量の総数は下がっている傾向にあると思います。それは、非常に市民にとっては騒音が軽減されるということもありますし、同時に飛行機がどんどん大型化していますから、三回で運ぶ荷物を一回で済むということがあって、実際の量が、軍事的な重要性は変わらない、もしくは高まっているけれども、離着陸数が減っているということになるのかもしれないけれども、さしあたって、昨年同期と比較をしながら考えていきたいというふうに思っています。そこまでが横田基地についての質問です。

次はですね、健康保険についての一般質問を行っていききたいと思います。

今の国民健康保険、ここにいらっしゃる方ほとんどは、国民健康保険でいらっしゃると思いますし、中には社会保険の方もいらっしゃると思いますけれども、こんなことはおさらいしようがありませんけれども、一九五九年に国民皆保険、国民のみんなが保険証を持ちましょうという趣旨で、確立を目指してやっていたわけですね。

当時は、市町村に対しては強制実施、それから住民に対しては強制加入という形で、今回まで進んできているわけです。

二年ごとにそれは切りかえがあることも、よく御承知だと思えますし、ことしなどは全国的には千七百四十七万世帯というような加入世帯で、大変な数の人が入っていますし、福生の場合でも、会社等に勤めているような人以外は、あるいは商店を経営されている人は、ほとんど国保ということになると思います。

ことしの、今度の議会でも、国保についての最高限度額についての変更等の議案も出てますけれども、ここで問題ですね、二年ごとに切りかえるときに、未納者に対する国民健康保険証の交付の問題というのが起こってきているわけです。ありていに言いますと、国民健康保険税を滞納していれば、国民健康保険証を手にすることができないという現実があるわけです。これにつきましては、担当の方から実際の運用の仕方を聞いていくと思えますけれども、昨年健康保険法が改悪になりました、そうした滞納者に対しては、保険証を取り上げても構わないというような法律に、どんどんなってきましたから、実際にはそのとおり運用していけば、滞納があれば全く保険証を渡さない。それから資格証明書をあげます。資格証明書というのは、健康保険証を使うような資格があるということとは認めてくれるけれども、それは別に、医者に行つて三割負担でいいというものではない、十割だということになっちゃうわけです。持っていないに等しいわけですね。しかし、この人は保険証、確かに持ってましたという形であるのが資格証明なんですけれども、実際に福生の中ですね、滞納を理由に、四月一日には切りかえになっているわけですから、四月から、例えば今、出納閉鎖の時期ですから、その間にいろいろな努力をして、納付もしくは納入ということになっていると思えますけれども、現実にはその納付、納入があるまでの何ヵ月、二ヵ月を限度にして、何十日間か保険証を持ってないという状態になっているわけです。そういうような現況については、どのように考えているか。

私の考えでは、とにかく健康保険証に関しては命にかかわる問題ですから、まず渡して、それから二ヵ月間なりで納付についての相談をすればいいと思えますけれども、今、現実の運用は必ずしもそうではないだろうというふうに思っているわけです。そのことがありますので、これについては伺っておきたいと思っております。

それから、三番目の質問ですけれども、除草剤についてというふうに書きました。

除草剤についてと書くと、大変に抽象的な言い方になりますけれども、全体としては緑の中で市民が暮らすというのが大変重要だということは基本だというふうに思います。その中で、市内のさまざまな施設、例えばグラウンドとかですね、畑等々、あるいは駐車場という所が草がどんどん繁茂をしてくるわけでした、梅雨の時期を迎えますと、あつと言うまに

草が茂ってくるということがあるんですが、それに対する対策として、除草剤を使っているということがあります。これまでも、予算委員会等々で除草剤の内容や質の問題を伺ってききましたけれども、現実に行政として除草剤をどのような形で市内に散布をしているかということの現況とですね、それから対策、対策というのは、前回市民の皆さんのお手元に行きましたお知らせをみますと、これから除草剤をまきますから、気をつけてくださいということが書いてあるわけですね。気をつけてくださいというのは、つまりほかのものにかかったりするとまずいという意味かもしれませんけれども、どこで、いつごろまくかということ、書いていないわけで、除草剤をまくシーズンになったなと思いますけれども、現実には、その、毒性のある除草剤を行政が使うはずもないという信頼感を持ちつつも、現実に、これまでの除草剤というのは、例えばダイオキシンのような科学物質の問題もあったわけですね。

これは、ベトナム戦争のときに、ベトナム中を枯らそうということで、アメリカ軍が使いましたから、その後、テレビで見るあのベトちゃんドクちゃんのような奇形の子がどんどん出てきてるんですね。あるいは発ガン性が非常に高い物質であったりということがあったりしまして、そのダイオキシンそのものを使うことが、だんだんなくなってきたにしても、除草剤はなるべく使わない方がいいだろうという考えを、私は持っているわけですが、実際に市内の散布の現状ですね。

それから、やはり市民の運動として、市内にどのような緑があるのかということ、地図をつくってこういうような運動なんかもあるわけですが、実際に、そうした緑の地図と除草剤との関係がどのようになっているか、あるいは行政としての責任を持つような除草剤の扱いというのは、どういうふうにかえるか。こういうことも含めて、これから除草剤の季節になっていきますので、ここで質問をしておきたいというふうに思います。

以上三点が、私の一般質問です。

(市長 田村匡雄君登壇)

○市長(田村匡雄君) 遠藤議員さんの御質問にお答えいたします。

横田基地について、チームスピリット87の期間中の、C-9輸送機等の移駐についてでございますが、このことにつきましては、三月の二十日、防衛施設局よりクラーク基地の滑走路補修のため、三月二十三日より五月上旬までの間、C-9三機が一時移駐してくる旨の連絡を受けましたので、その日に防衛施設局、基地側に対し、騒音、それから事故防止に

万全を期するよう、申し入れるとともに、三月三十日には司令官に面会し、同様の申し入れをいたしました。その際、司令官より、夜間訓練、要するに二十二時からその六時については、特別の理由がない限り実施しないとの回答を受けております。また、こうしたことが数年続いておりますが、常駐化ではなく、工事のための一時移駐であるものとのことです。で、好ましいことではありませんが、やむを得ないと思っておるわけでございます。

次に、第二点目の、E-2Cの市内上空飛行についてでございますけれども、四月の十六日の昼前に、何ら連絡もなく、突然E-2C二機による飛行訓練が実施されました。その直後、防衛施設局より四月十六日から二十二日まで、土、日を除く五日間、E-2C二機による昼間二時間、夜間二時間の慣熟飛行訓練を行うとの連絡がありましたので、事前連絡がなかったことに対し抗議するとともに、飛行訓練を中止するよう、強く要請いたしました。翌十七日には、四市二町の市長、町長の連名により、国及び米軍当局に対し、同様の要請を行いました。さらに、二十一日の朝、司令官に面会し、事前連絡のなかったことに対し抗議するとともに、飛行訓練を中止するよう、強く要請してまいりました。どのような理由によるものかは、米軍側のコメントを得られませんが、わかりませんが、結果として、二十一日、二十二日の訓練が中止されたことは、幸いであつたと思います。

私といたしましては、E-2Cの訓練を認めて行きますと、次は他の艦載機による訓練というふうにエスカレートされても困ると考えておりますので、今後この件に関しましては、引き続き中止要請をしてまいりたいと考えております。

三、基地祭での曲技飛行についてでございますけれども、ことしの横田基地のお祭りは、御指摘のように九月の五日、六日の予定だそうですが、その際曲技飛行が実施されるかどうかにつきましては、まだ何の連絡も受けておりません。したがって、こうした状況でございますので、はっきりしたことはわかりませんが、ブルーインパルスにつきましては、米軍はことしも実施したいということで、日本政府に要請中のようにございます。

仮にブルーインパルス曲技飛行が実施されるような場合におきましては、私といたしましては従来からの御答弁申し上げます。また、米空軍所屬のサンダーバードによる曲技飛行等が実施されるかどうかにつきましては、現在のところ、全くわからないという状況でございます。今後さらに基地側に確認してみたいと考えております。

次に、四の燃料輸送の安全対策でございますが、JR日本貨物鉄道株式会社が米軍と輸送契約を結び、専用の引き込み

線を経由して基地内に燃料を輸送しているものであります。

御指摘のようなトラブルは、引き込み線内に立ち入った市民に、貨物の操作員が危険のため撤去を依頼したことから生じたものと思われます。市といたしましては、市民に安全のための、線路内への立ち入りをやめるようPRをし、基地にはフェンスや看板の整備、JR日本貨物鉄道株式会社には安全運転をお願いをいたしていきたいと存じております。また、線路上の貨車の安全基準等もあり、過去にもこのような事故もなく輸送されております。

五の、三月～五月期の離着陸については、担当の部長から答弁をいたさせます。

次に、第二点の国民健康保険について、保険証の交付と保険税の納入について、御答弁を申し上げます。

御承知のとおり、国民健康保険は、他の保険に属しない方々の地域保険として、相互扶助の精神のもとに実施されている制度であります。本来、国民健康保険は、強制適用することから、国庫支出金からの財源と被保険者の方々の納入していただく国保税により賄われているものでありますが、現状はこれに加えて都の補助金、一般会計からの多額の繰入金により事業運営がなされているところでございます。

さて、御質問の保険証の更新時における保険証の取り扱いについてでございますが、今回に限らず、保険者として更新時に居住の確認、資格の確認を必要と思われる方には実施いたしております。保険税につきましても、事業運営上、この時期に納入相談、納入勧告を積極的に実施いたしております。このことは、先に申し上げたとおり、相互扶助の制度としている以上、納めるべき税を納めていただきますと、運営が成り立ちませんので、今後も引き続き実施してまいりたいと存じます。

なお、事故のことを御心配いただいておりますが、事故の起きないように十分注意してまいりたいと存じます。また、国民健康保険税が、正直に義務を果たしている市民の方にだけ負担がかからないように、また事情のある方にはその申し出により、特別の配慮をしていくことは、今後も同様でございます。現状等につきましては、部長から答弁いたさせますので、よろしくお願いをいたします。

三点目の除草剤について、除草剤の市内散布の現状と対策についてでございます。

除草剤の散布を行っている場所は、直営、委託の別につきましては、普通財産の空き地と市営住宅の木造住宅撤去跡地は高齢者事業団への委託で実施しております。また、公園、道路、運動施設等は、直営及び民間業者に委託をして行っ

ております。

次に、散布する薬剤でございますが、高齢者事業団では六十一年度までパラコート系の薬剤を使用しておりましたが、本年度からは低毒性の薬剤に切りかえることになっております。公園、道路、運動施設に使用する薬剤は、六十一年度から低毒性の薬剤を使用し、使用の都度購入しております。

周辺住民へのPRについては、既に市民にもお願いしているところでもありまして、これからは、薬剤散布後看板等を設置し、市民への周知を図ってまいります。市及び委託業者が使用する薬剤は、低毒性のもので、人体に及ぼす毒性については、通常の取り扱いの注意をして作業を行えば、散布業者及び周辺住民とも特に問題はないと思われ

ます。なお、詳細については部長から答弁をいたさせますので、よろしくお願いいたします。

○市民部長（小野光朗君） それでは最初に、横田基地関係の五番の質問事項でございます。三月～五月期の離着陸についてを報告申し上げます。

まず、三月でございますけれども、飛行回数、飛行総数、ことが千九百十二回でございます。前年が千四百六十八回、四百四十四回の増。一日平均飛行回数六十一・七回、去年が四十七・四回、十四・三回の増でございます。次に、夜間でございしますが、二十二時から午前七時まで、ことが八十六回、前年が百八回、減の二十二回でございます。次に、一日平均でございますけれども、ことが二・八回、前年が三・五回、減の〇・七でございます。最高飛行日及び機数でございますけれども、三月十七日が百三十一機、昨年が三月二十一日、百三機で、二十八機の減となっております。次に、騒音の最高日及びホーンでございますけれども、三月十九日、ことが百十六ホーン、去年が三月十五日百九ホーン、七ホーンの増となっております。

次に、四月でございますけれども、飛行総数千二百四十五回、昨年が千二百回、四十五回の増でございます。一日平均の飛行回数、四十四・五回、前年が四十回、四・五回の増でございます。次に、夜間でございますけれども、二十二時から午前七時、八十二回、前年が六十三回、十九回の増でございます。次に一日平均でございますけれども、二・九回、昨年が二・一回です。〇・八の増でございます。最高飛行日及び機数でございますけれども、四月十七日、八十六機、前年四月二十三日、九十八機、減の十二機でございます。騒音最高日及びホーンでございますけれども、四月十日、百十四ホーン、昨年が四月二十九日、百十五ホーンで、一ホーンの減でございます。

次に、五月でございますけれども、飛行総数九百二十九回、前年が千三百五十三回ですから四百二十四回の減となっております。一日の平均飛行回数が三十五・七回、前年が四十三・六回、減の七・九回でございます。次に、夜間でございますけれども、二十二時から午前七時まで四十回でございます。昨年が五十五回ですから、減の十五回。次に一日平均が一・五回、昨年が一・七回ですから、〇・二回の減となっております。最高飛行日及び機数でございますけれども、五月一日に八十二機、昨年が五月二十二日の百六機でございます。減の二十四機となっております。最後に騒音最高日及びホーンでございますけれども、五月三十日、百十二ホーン、前年が五月八日、百十五ホーンとなっておりますので、減の三ホーンとなっております。

続きまして、市長の国民健康保険証に対する補足でございますけれども、うちの方で新規に保険証を交付するのを差し控えたという世帯が千百十五世帯でございました。そして、三月からいろいろと交渉した段階の中で、いろいろと三月からの、その通知によりまして、来庁を通しての指導に基づいて交付したものが、そのうちの七百五十七通となっております。現在、千百十五世帯のうちに七百五十七世帯は、そのうち七百五十五通が、納付指導に基づいて交付してございます。現在残っておりますのが、三百五十八通という状態でございます。以上です。

○議長（村尾栄次君） 六時十五分まで休憩いたします。

午後六時 五分 休憩

午後六時十五分 開議

○議長（村尾栄次君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

○建設部長（森田 進君） 自席からお許しをいただきまして、除草剤に関係いたしまして、六十二年度の、市有財産の現況について市長の補足をさせていただきます。

まず、管財課が所管しております普通財産あるいは市営住宅についてでございますが、これにつきましては、普通財産が四カ所ございます。面積にしまして約五百八十平米ほどの面積を持っております。それから、市営住宅が五カ所ございます。面積にしまして、約三千四百平米ほどの面積になっております。これは高齢者事業団に委託をいたしまして、年二回除草剤の散布をするという予定でございまして、使う薬品につきましては、後ほど御答弁申し上げますけど、ラウン

ドアップという薬品と、グリマトールという薬品を、一応使う予定になってございます。

次に、施設課が所管いたします公園分でございますが、これにつきましては、市が直営で散布するものと、それから民間業者に委託する二つの方法がございまして、民間に散布するものにつきましては、大きな公園を除きました市内の公園あるいは児童遊園でございまして、約二千二百平米ほどの面積について散布することになってございます。これも、年二回散布する予定でございまして、既に一回は終わっております。使う薬品につきましては、ヘキストバスタという薬品を一応予定しております。また、民間業者に委託する公園につきましては、かに坂公園、鍋二公園の芝生地を対象に散布するわけでございますが、薬品はシマジンでございまして、年二回でございます。面積としましては、三つの公園合わせまして、約九千七百平米ほどございます。それから、土木課の方で所管をいたしますものは、道路分でございますけれども、街路樹の下が三カ所で、千六百平米ほどでございます。それから道路サイドが四カ所でございまして六千平米ほどございます。それから歩道、遊歩道につきましては四カ所でございまして、これが千二百平米ほどございます。これは年二回散布をいたしまして、薬品といたしましては公園と同じようにヘキストバスタという薬品を予定してございます。なお、これも既に一回目が終了してございます。

次に、教育委員会の方で所管してございます社会教育施設でございますが、八施設ほどございまして、面積にいたしましては三万七千平米ほどの面積がございまして、これは、民間に委託をいたしまして、年二回から三回程度の除草剤の散布を行う予定でございます。薬品につきましてはラウンドアップ、それからブラコス、それからシマジンと、こういった薬品を予定してございます。

それから今申し上げました薬品でございますが、この薬品につきましては、この除草剤の、劇物の基準で言いますところの普通物と言われるものでございまして、この分類で見ますと、四つのランクに分かれておりまして、一番毒性の強いものが特定毒物と言われるものでございます。その次が毒物、それから劇物と、それから普通物と言われるものでございまして、この普通物については、特に印鑑等が必要なくて購入できるものになっていると、そのように一応承知してございます。

それから、散布をするに当たっての、作業上の注意事項でございますが、噴霧器を使用するときについては、眼鏡だとかあるいはマスク、ゴム手袋を着用すると。それから、じょうろ等を使用するときについては、手袋を着用すると。風の強

いときには、作業は中止をします。それから作業後は体の露出部を洗うと、そういったことを一応作業するときの注意事項といたしまして、散布を行っているわけでございます。

以上、除草剤に関連いたしましたして、市長の補足答弁にかえさせていただきます。

○十三番（遠藤洋一君） 自席から再質問をさせていただきます。

まず、一般質問の最初に行いました横田基地の問題です。

チームスピリットの最中に、例えばイギリス軍機が来た、あるいはタイ空軍機が来たということについて、話の中で出てきまして、市長さんにそんなに興味がなかったかもしれないんですけども、現実にはこれらの飛行機が離着陸をしているというようなことにつきましては、市長さんはどのように認識して考えていらっしゃるか。つまり、あそこの中はもう米軍基地ですから、アメリカ軍にお任せっきりだというのは、なんでイギリスの、しかも大型の空中給油機がこなきやいけないのかとしたりするんです。しかも、空中給油機というのは、KC-135が一時移駐したときに、大変騒音問題が起きましたけれども、飛行機そのものに油を積むわけですから、大変に離着陸時の騒音の大きなものでして、こういうイギリス空軍まで来るといようなことに関して、市長さん、どのように考えているかということ、ちょっと伺いたいなと思っただけです。

それからもう一つはですね、C-9とE-2Cと、ちょっと扱いが違うなという気がしてはいるんですが、実はそのC-9は、去年、おとしと来て、大体一年間の一定期間、横田に必ずいて、しかも訓練飛行をするといようなことになっているわけで、これはE-2Cと同じですね、やはりその、常駐してないのと、好ましいことではないということではなくてね、毎年来るんだたら困るということ、言うてはいいんですが。例えば同じフィリピンから、フィリピンのクラークは滑走路が工事中だということで、工事中だということ、言い方はなぜかという、去年の二月の二十五日にテレビ中継の中で、マルコス大統領はクラーク飛行場から飛び立ったもんですから、どこを工事しているかというのは、皆さんも思ったと思うんですけども、ともかく一定のときに、必ず定期にやってくるとすればね、もうわかるわけですから、それははっきり一時移駐は困るというように、米軍に対して、あるいは施設庁に対してははっきりした態度をとっていただけないだろうかと思ひます。このことをお尋ねしていきたく思ひます。

C-9は確かに輸送機ですけども、さっきも言いましたとおり、一日に、一日と言っても実際には二時間ぐらいの間

に、五十回近くタッチアンドゴーをやっているし、それから市内上空も飛んでるし、どういふふうな飛び方を見てもですね、例えば拜島方面に飛び立って、くると回って熊川の団地を過ぎて、福生の南田園の団地の一番高い棟をまず目指して飛んで、それから市内に入ってきて、N-TTの看板が市役所の上にはためいている旗を見て飛んでいる。そういう飛び方をしていると思ひえないんです。非常に、市街の上空を非常に低空で飛ぶような演習を延々とやるわけですよ。それから言いますと、ぜひE-2Cと同じように、中止要請をしていただきたいと思ひますけれども、そのC-9に対しては大変寛容なんですけれども、どのように市長さん、お考えになっているかということ、伺っておきたいと思ひます。

それからですね、E-2Cの問題は、やはりきちんとした対応をとっていただければ、必ずこうした形で、四月の二十一日に、米軍の方が抗議に基づいて中止をしたかどうかという判断はまた別にしても、少なくとも市民の側から言えば、市長さんたちが顔をそろえ、首をそろえてきちんと言ってくだされれば、騒音の被害からある程度のがれることができるのかしだと思ひますね。それから言えば、E-2Cについては行方、つまりE-2Cについては市長さんもおっしゃったように、事によると、このまま放っておくと背景があるかもしれない。例えば、ほかの飛行機がというふうにおっしゃってますけれども、例えば今、夜間訓練飛行が問題になっているF-18は、三宅島もだめ、厚木もだめと、じゃあここに来るかいなというふうなことになるのはとんでもないことだと思ひますが、そういう含みもあるんだらうと思ひますけれども、それであれば、夜間訓練はしないという条件で来るC-9だってそんなにわからないわけでは、実際に新しい部隊が到着をして演習をやっている。しかも必ず市街地の上空でやるわけですから、そういうことの安全から考えれば、そのことは必ず、僕は、ほかのものにも言えると思ひますし、E-2Cだけではなくて、C-9に対してもどうしてそういうことをしてくれなかったのかという、その面からちょっと伺いたいです。

もちろん、抗議をしたことに対して、二日間縮まったということは、やはり市長さんの成果だと思ひますし、同時に、どう見ても、選挙が始まるぐらいですからね、これは大変に政治的な中止かなと思ひたりするんですよね。基地はやだつてやつばかり得するような飛行機の飛び方をしますからかなと思ひつつですね、しかし、抗議をされたことに関しては、やはり市民としては市長さんに対してはよくやってくださったというふうに思ひます。

それから、九月の基地祭の問題ですけども、その、曲技飛行については連絡はないと。しかし、ことしも実施をしたいと要請中であるというのは、これは横田基地ですよ、要請しているのは、多分。そこをちょっと聞きたかったです。

そうしますと、ブルーインパルスの場合には、安全に万全を期しているから中止要請をしないと。それはことしの想定が既にあるわけでしょう。さっきの、日本共産党の松山清議員の質問のときは、こういうことをおっしゃってないわけですよ。ことしも実施したい、多分来るかもしれない、可能性があるとこの話なわけです。

可能性があるとすればね、僕はもう一回、はっきり伺いたいと思いますけれども、その、C-9なりE-2Cなりの騒音問題ということで考えれば、たった一日だとおっしゃるけれども、現実去年、例えば八月三十、三十一日の前の日ここにいらしたかったかわかりませんが、前日から苦情が入っているわけですよ。

例えば、練習で飛んでますから、人間から上がってきたわけですが、かなり広範囲にわたって東京の空で練習をしているわけですよ。ほぼ同じ、つまり横田基地の滑走路の上で演技をするわけですから、リハーサルを重ねてくるわけで、一日だけじゃないんですね、騒音そのものから言えばね。それから、先ほどの安全に留意をするということから言えば、例えばこういうことじゃないかと思うんですよ。今、日付の資料を手に持っていないで、例えば八十一年でしただけ、落っこったことがありますよね、ブルーインパルスが、かつて浜松で落ちたときがありますけれども、五十七年だから八十二年に落ちたんですね。そのときの多分難易度っていうんですか、非常に難しい演習をやった落っこった。落っこったかどうか、五機で飛んでる飛行機のうち二機が、地面に衝突したんですね。それは、演技をしている最中に、非常に難しい演技だったものですから、非常に地面の近くでやるときの角度を間違えて地面に激突するといふ大変な悲劇が起こったわけですが、この間は難易度の低い、多分演技をしてるんだと思うんですね。それはその、米軍、自衛隊なり施設なり、防衛庁の説明するところの安全なことをしてるんだということだと思っ

実際に去年、僕はとても我慢ができてなくて基地には行かなかったし、見なかったけれども、うちで見ている限りは、それまでいろいろな資料で読んでいる難易度に比べれば、はるかに低い難易度の演習というのか、やってるんですね。だから、それだけその、安全と言え、浜松よりは安全だけれども、普通、通常の飛行に比べれば、はるかに危険であることに違いないわけですよ。ですから、安全であるというふうに聞いてきて、それをもって安全に留意をしているというふうには思われることはないかと思うんです。実際には、例えば背面滞空飛行と言いまして、お互いに相手が向き合っていて、しかも片方の、上の飛行機は宙返りをしている状態ですれ違ふとかですね、こういうのをやってるはずなんですよ。

それはものすごく危険ですし、三機、五機で一緒に並ぶときなんかはですね、それぞれ、翼の肩と肩の間が、二メートルくらいしか離れていないような、非常に高度な飛行をやるわけです。それだけだって、でも、それはふだん単機で飛んでいることから考えれば、千倍も百倍も危険なわけで、最近はやってきた「トップガン」という映画を、ごらんになった方もいらっしゃるし、市長さんも見たかどうかかわかりませんが、非常に高級な演習でやってる学校がありますよね。その人たちよりも、はるかに優秀な人たちが、その教官クラスがやるような、日本のトップガンがあるわけですし、大変な演習をやっているわけで、その分だけ落っこちる可能性も多い非常に危険な、しかも市街地の上空でやる。

例えば、サンダーバードの話をさっきしまして、サンダーバード、ちょっとわからないということで、僕が見た限りではアジア巡業があって、そのうちキャンセルされたとも聞いてるんですけど、演習している場所もそうですし、それから、決してこんなに人口の多い市街地の上空ではやってないんですね。横田基地は、恐らく今アメリカ軍が海外に持っている基地の中では、最も人口背景の多いところだと思うんですよ。八王子、立川、青梅、それから福生と足しますと、超密集地帯なわけですから、その上でやることの危険性というのは非常に強いだろうと思うんですよ。

それでもう一ぺん伺いたいと思うんですが、今、こうした私の意見の中で、さらにその、ぜひ中止要請をすぐにしないまでも、例えば賛成はしてほしくないというふうに思うんですよ。前回の、前回のブルーインパルスの件でもですね、先ほど松山さんの方からありました、ほかの市町村は反対しているわけですよ。福生さえ足並がそろえば、先ほどのE-2Cのように危険なものが来なくて済むということになるわけです。

それから、たくさんの方が見に来ますというけれども、ブルーインパルスと一緒に日本中を巡業しているようなファンの人ってたくさんいるんですね。その人たちのことを悪く言うんじゃないで、それぐらいファンがいるんですよ。でもその人たちは、別に安全な松島でやっても見に行くんですよ、汽車で、えっさかはいと。それから言えば、その人たちのことは、あんまり心配しなくてもいいと思うんです。むしろ心配すべきは、圧倒的多数の福生の市民の方を心配すべきではないじゃないかというのと、それから、ぜひほかの残った三市二町の方々が、歩調を合わせてくださるように、合わせてお願するような御答弁をいただきたいというふうに思うんですよ。

例えばサンダーバードばかりじゃなくて、アメリカ海軍はブルーエンジェルスというのを持ってますね、これはこの

間、F-18に機種が変わったんですよ。F-18に変わったとたんに、世界で一番うるさい曲技飛行団になってしまったんですけれども、そんなのが来るなんていったらもう、大騒ぎですから、とにかくですね、市街地ではやらないと。住民はそんなにその、一部を除けば喜んでるわけじゃないということから言っても、ぜひこれについての御返事を、もう少しいただきたいと思っています。

それからですね、拜島の、今やJR日本貨物会社というんですか、昔の国鉄の貨物ですね。そのことについての中身、それから米軍の輸送契約で運んでいるんだと。それで引込線の侵入トラブルがあったんだというけれども、僕は必ずしもそれは聞いてないんですね。

実際にトラブルに遭った人にも話を聞いてますけれども、小さい子供がいて、汽車が危ないからという形で見せていたんだと。それはお互いの話ですから行き違いがありますし、それから線路内に侵入した、しないというのは、どこに理由があるかと言えば、それは簡単なんです。つまり、さっき言ったけれども、片側にしか降りない踏切遮断機であるから起きる事故なわけです。歩行者にしてみれば、別に右にでも左にでもいるわけですから、遮断機の降りてないところにいる可能性は十分にあったし、あるんですね、現実には。それで、非常に気を使うような助役さんや運転主任さんが乗っている、やっぱり気にするから注意するのは、それは僕は職務上当たり前だと思ってるんですよ。そういうことが、トラブったり、あるいはその侵入というのは非常に不適切な表現であって、いた場所が非常にその注目に値する場所であったというふうに、例えば、管理者の方からするとそういうことはあり得るんですよ。見てると。

だから僕が言ったのは、それらに対して、例えば踏切などに対する改善みたいなことを市は考えるのか、あるいはあれは都道だとすれば、都に対する働きかけも含めて行うことができるのかということ聞いたのであって、そもそも安全のために線路内への立ち入りは禁止されてるなんてことは、みんな知ってるわけです。

じゃあその、燃料タンクというのは一日、何時に、どういうふうに入っているかということを、市長さん、もし御存じだったらぜひ答えていただきたいと思えますけれども、つまり、例えば、例えばですよ、交通煩瑣な時間だって可能性があるわけでしょう。いつだって起こり得る可能性なわけです。それから現実には、あの辺に住んでいらっしゃる方は、皆さん何時ごろ通るかわかっていらっしゃるから、安全な時間に、一番近いコースだから歩いていらっしゃるんですよ。それは、そのことを責めるわけにはいかないと思えますし、むしろそういうことができないような形の措置を考えることもいいと

思うし、JRは安全運転をしているから事故はないというふうに言ってますけれども、事故はかつてあったわけですよ。しかもああいう、何ていうのかな、線路の中じゃなくてね、駅構内で起こった事故が、現実には二度も起こっているわけですから、それは事故がないというふうには、必ずしも言えないわけで、そのために万全の注意をお願いしますし、もしくは危険の対策を立ててくださいと、さっき看板の話が出ましたけれども、ぜひそういうことをお願いしたいと思いますし、そこを市長に伺いたかったわけですよ。

それともう一つは、このことを伺いたいですけれども、あの貨車輸送以外に燃料を運ぶ方法というのはないのかということがあるんです。貨車輸送に関しては、さっき言った事故の可能性はあるけれども、パイプ輸送その他で、横田基地はかつて燃料輸送のためにパイプ輸送の計画を立てたことを、僕らも知ってるわけです。それで、浜安善から多摩川の河川敷を通してパイプ輸送をするという計画書が出ていて、僕は前の、まだ部になっていない企画の課の時代に調べに来て見た資料がありますけれども、結局多摩川を使うパイプ輸送というのはだめだったんですね。地盤の関係で、パイプを引けたとしても、例えば緩んだり、地震があったりする可能性があって、調査の結果だめになって、今の方法しかないという事になったわけです。

例えば、成田空港、花見川というところを使ってパイプ輸送をしてるんですけれども、万やむを得ずかもしれないけれども、あの方法以外に、つまり裸で燃料を運ぶようなこと、例えば、朝鮮戦争やベトナム戦争の最中、朝鮮戦争の最中には、稲城にある多摩弾薬庫から、弾薬を貨車に乗せて南武線へ運んで、あの線から入れているわけですよ。そういうことは、見ていらっしゃるお年の方はたくさんいらっしゃると思います。僕は小さいころだし福生市にいなかったからわかりませんが、単純に言えば、そのために使った線路ですよ。それから言えば、非常に僕は危険性も高いし、今後の危険も高いと思いますけれども、その点について市長さんは、行政の中にあるこういった施設について、米軍と話したり考えたことがあるかどうかということも合わせて伺いたいと思います。

それから、三月～五月初の飛行量を見て、僕はやはりちょっと誤解をして、年々減ってるかななんて思いましたけれども、やはり三月、ことしになってふえてしまうんですね。ふえたり減ったりふえたり減ったりするわけですが、実際に三月はやはりチームスピリットの影響が非常に濃く出てくるということで、市長さんにはチームスピリットのときに司令官に対して何らかの申し入れをしてくださいますかという三月の一般質問を行いまして、安全には気をつけるとい

う形のご返事をもらっていることも伺ってまうけれども、現実にはこうやってふえているということを、数字が出てくると初めてわかるわけで、認識をしていただきたいと、これは御答弁は結構ですけれども、考えていただきたいと思っています。

それから、保険証の話なんですけれども、やはりさっきの市長の説明の中でも、相互扶助であると。相互扶助で強制というのも大変なものだと思うし、現実には、国庫支出金、都の補助金の関係、あるいは国庫支出金がほとんど打ち切られてますから、現実には相当な一般会計からの持ち出しをしない限り国保会計というのはもうできないんですよ。

老健法が変わって全部しよい込む形になる。将来的には保険が一本化するんだということから言えば、とてもとても受けられないようなものを自治体に押しつけているという形に、というのは事実だと思うんです。それは、政党や主義主張を超えて、実際に肩にかかるような負担感としてあると思うんですよ。

しかし、その負担の行き先がね、実際に保険料を払うところの人たちのところに行っちゃうというのは、やはり考えてもいいというふうに思うんですよ。もちろん正直に義務を遂行している人と、それから悪質に滞納している人が同じ資格なのはおかしいということはよくわかるんですよ。でも、しかし実際には、どのような形で払えなくなってしまったのか。あるいは高額所得者で払わないのはやはり悪いと思うんですよ。

でも現実にはどうですか、詳しく部長に伺いたいんですが、実際にその、払えないと、それで、七千四百五十二世帯のうち、千百十五ですか、というのは相当な滞納率ですよ。この中で、長期に滞納している方はいらっしゃるのか。

例えば、その方はですね、例えば五十八、五十九と滞納をしているとしますよ。それで五十八、五十九を払っていけば六十二の交付というのがされているかどうかということを含めてあるんですけど、あるいは実際に交付されていない状態あるいはこの間の、三月から交渉してまうけれども、その中で一定額以上の人は、どのくらいいるかなんてことはわかりまうでしょうか。

むしろ、少ない一万円とか二万円とかの額で払えないという人が多いんだろうと思うんですね。それは現実には、なおかつ子供でもいれば、本当に保険証をすぐに必要としているけれども、小さい額でも払えない。しかし、医者に行かなきゃということがあると思うんです。それはですね、やはりこれまでその、マスコミ報道等でも、実際にその、懲戒的に、懲戒的にとというのは、あんた、払わなければこれは渡さないよというような形の行政ではない行政をやはりしてほしいと

思いますけれども、これは一体、どのような形になっているかということも、合わせて伺ってきたいと思っています。

それから、四月に切りかえですから、もえなければあるいは、場所によっては学童保育でちょっと持っていっていらっしやいなんて言われて、あわてて払いに来たなんて話も聞きますけれども、要するに、どういった現状になっているかということについて、もう少し知りたいと思っています。ですから、実際にどれくらいの額で払えなかった人がどのくらいいるのかということも、ちょっと伺いたいと思いますし、市長さんは、別に、何というかな、正直に義務をしている人としていない人が並んでね、いけないというんじゃないかと、原則としては、さっき言ったけれども、送っちゃったらいなかったなんていうのは、大変困るわけですが、どこかへ悪用されちゃうことがあるかもしれないが、原則的にはやはり、切りかえで渡して、しかしその後、徴収するというようなことがあっても、やはり空白の期間があるのはまずいと思いますから、それはどのように考えているかということも、ちょっと伺いたいと思うんですね。

四月一日から五月でも、五月の三十日にしても、六十日間保険証のないときがあるわけで、これは基本的な思想から言ううと、国民皆保険というところの思想からちょっとはずれるんですね。皆保険はみんな入りなさいということで、保険証を持ちなさいということは別うかもしれないけれども、例えば権利の問題から言えば、住民税を払ってなくても住民票はくれるんですよ、こういう比較は相当よくないけれども、それから言えば、現に存在しているわけですから、払えないことがあるとすれば、でも、なおかつ、とにかく渡すことで、命にかかわることは、やはり優先するというふうに僕は思うんだけど、その交付の仕方、あるいは国の法律等々の問題もありますけれども、市長さん、どのように考えているのかを、もう一ぺん最後に伺いたいと思います。

それから除草剤については、本当に丁寧に、財産の問題その他について答弁いただきました、ありがとうございます。基本的にはなるべく除草剤を使わなくてもいいという、使わないような形だと思えますし、それから市民の側とか僕らの側も、除草剤と緑の関係みたいのについては、これから考えていきたい課題だと思っていますので、大変に細かい答弁、ありがとうございます。ここだけにします。ほかの残った数点について、二回目の質問にしたいと思っています。

○市長（田村匡雄君） 自席からお許しをいただきまして、御答弁申し上げます。

横田基地について、第一のチームスピリット87の件でございまして、C-19の件でございまして、この件につきましては、毎年フィリピンから来るわけでございまして、私も実は、今、遠藤議員さんからいろいろお聞きいたし